

健康づくり推進条例第23条第4項に基づく部会である「8020運動推進部会」の平成25年度開催状況については、以下のとおりです。

## 1 開催日時等

区分	開催日時・場所・出席者	議 題
1回目	7月30日(金) 14:00～15:30 兵庫県歯科医師会館 2階会議室 出席:19名	(1)「兵庫県健康づくり推進実施計画(歯及び口腔の健康づくり分野)」に基づく今後の取組について (2)「平成24年度8020運動推進部会ワーキング部会(医科歯科連携推進連絡会)」について
2回目	3月18日(火) 14:00～15:30 兵庫県歯科医師会館 2階会議室 出席:16名	(1)「健康マイプランサイクル(健康診断の確実な受診)」の推進について (2)健康づくりの推進について(平成26年度健康増進課事業について) (3)「災害時歯科保健活動指針(改訂版)(案)」について

〔委員数： 委員数 21人（健康づくり審議会委員12人、専門委員9人）〕

## 2 主な意見

### (1) 兵庫県健康づくり推進実施計画に基づく今後の取組について(1回目)

#### ア 効果的な事業の進め方に関する現状と課題

- (ア)担当者の意識の高さにより、各団体での取組状況や、他団体との連携への積極性に違いがある。専門職と連携した啓発を進める必要がある。
- (イ)学齢期には歯みがき指導時の染め出し、思春期には口臭予防等、対象者の年齢により効果的な指導方法を検討している。
- (ウ)看護協会や栄養士会と連携して、健康チェックや食生活指導等も絡めた形で、事業を実施している地域がある。

#### イ 効果的な啓発・広報の手法に関する現状と課題

- (ア)団体等に所属していない人には情報が行き届きにくい現状がある。団体に属していない方や、在宅療養者等、広く県民にわたる啓発方法を模索している。
- (イ)若者と比べて高齢者は、インターネット等から情報を得にくいことがある。情報発信し、知識を深めることで生活の質の向上を図る必要がある。
- (ウ)歯科専門指導の場へと足を運ぶことは、県民にとってハードルが高い。ショッピングモールなど地域生活に根ざした場で実施すると、参加しやすい。

(2)「健康マイプランサイクル(健康診断の確実な受診)」の推進について(2回目)

ア 対象者への働きかけ方の工夫について

- (ア) 歯科健診受診者は、比較的モチベーションが高い方である。その方を中心に、正しい歯みがきの方法や指導内容などについて、家族への働きかけが進められれば効果的なのではないか。
- (イ) 小学校低学年の児童については、保護者の意識により健康状態が決まる部分が多い。受診勧告の通知を出すだけでなく、機会ごとに保護者への啓発が必要。
- (ウ) 口腔衛生は予防医学の最たるもの。「自分で取り組み、予防できる」という辺りをさらに上手く意識付けすることができれば良いのでは。

イ 地域の中での効果的な事業展開について

- (ア) 歯科健診を受けることの意味やメリット、効果的に働いた事例等を、対象者や各団体に伝えていく必要がある。メリットがないと受診者数は増えない。
- (イ) 人間ドックのような全身管理の中に、歯科健診を組み込むことができれば、全身と口の健康づくりは大きく関係しているおり、口腔ケアや禁煙の推進が、健康寿命の延伸にもつながる。
- (ウ) 8020達成者(80歳で残存歯20本)が増えている一方で、8000(80歳で残存歯0本)の方も減っている訳ではなく、2極化が進んでいる。生活背景も視野に入れ、全身の健康管理として取組を進めていく必要がある。